

令和元年6月 定例教育委員会 会議録 要旨

1 日 時

令和元年6月27日(木)

開会 午前9時30分 閉会 午前10時58分

2 場 所

市役所西館 2-6 会議室

3 出席及び欠席委員

出席者 大野教育長 大庭委員 今村委員 荒牧委員 白木原委員 吉田委員

欠席者 飯盛委員

4 会議出席職員

山口教育部長 江頭学校教育担当部長 高塚教育総務課長 松尾保育幼稚園課長 深町生涯学習課長 古庄文化課長 副島教育総務課副課長 鹿江学校教育課指導主任 松本教育総務課庶務係長

5 教育長の報告事項

- ・6月は少雨であったが、昨日梅雨入りしたということで農家の方々もほっとしている状況だと思う。
- ・昨年虐待死の件で話をしたが、6月5日に札幌の方で「多数のあざを残し、平均体重半分の6キロ程度で衰弱死した2歳女兒」という痛ましい事案が今年も起きているということで非常に印象に残った。
- ・子どもというのはどういう存在なのか、保育事業の従事者だけでなく、保護者、地域、大人がしっかり考えていくべきであると思う。決して許されないことであるが、現実として発生している状況の中で、教育委員会も様々な部署と連携していく必要がある。
- ・6月2日の佐賀県保育事業研究大会の冒頭で、児童憲章を確認したが、「児童は人として尊ばれる」「児童は社会の一員として重んぜられる」「児童はよい環境の中で育てられる」ということをしっかり頭の中に入れてやっていく必要があると思う。ここでの良い環境とは、施設設備だけではなく、人的環境は非常に重要で、今後人づくりの中でもやっていかなくてはならない。
- ・また、80代の親が50代の引きこもりの子どもを養っているという8050問題の中で、偏見等人権に関する問題も出ているのでこれについてもしっかり考えていく必要がある。
- ・6月2日佐賀県保育事業研究大会。同日小城中学校体育大会。
- ・6月3日全体朝礼会、経営戦略会議、男女共同参画推進会議。
- ・6月4日小城市議会勉強会。議会の日程は、7日の第2回小城市議会定例会の開会から10日勉強会、13日、14日、17日及び18日で一般質問、19日議案質疑、25日文教厚生常任委員会で明日閉会予定。
- ・書聖中林梧竹に関する一般質問では、中林梧竹の業績を活かした事業が全小・中学校でできないかという問いに対し、各学校で地域の実情に合わせて学校が取り上げている旨回答した。他にも学校給食の牛乳について、須賀神社・天山周辺のトイレ整備、交通安全対策、公立保育園・幼稚園の民営化、働き方改革、新学習指導要領、子どもサポーター増員、子どもの安全環境づくりの推進、公共施設整備計画での公民館支館の位置づけ、牛津総合公

園グラウンドの利用変更等の質問がなされたところである。

- ・ 5 日小城市社会人権・同和教育推進協議会にて、同和問題に取り組む宗教教団連帯会議の取り組みの話があり、同日午後は人権同和教育研究会にて、部落解放同盟佐賀県連合会の小宮書記長の講演があった。
- ・ 近年の賤称語発言の問題もあり、部落問題にかかわる教員の理解度については心配な面もあるため、佐同教、市同研、市同教、社会教育、学校教育が力を合わせて取り組んでいく必要があると改めて考えさせられた。
- ・ 6 日あしかりこども園市教委訪問。
- ・ 8 日津の里ミュージアム開講式。牛津地区の小学生 79 名が、このミュージアムで 1 年間取り組んでいく。スタッフとして中学生・高校生のボランティア約 30 名と、地域の多くの方々で牛津地区の子どもたちを見守るこの事業が、今後も盛大に開催されることを期待している。
- ・ 9 日「小城市教育の日」。学校ではフリー参観デーが開催された。この日は情報モラルに関する行事が各校で行われ、例えば岩松小学校では、外部講師の授業であったが、低学年でも操作できてしまう子どもたちの現状の中でインターネットとどう向き合うかという内容で、導入としてはよい授業であった。保護者の参加もあり、今後もこの情報モラルについては指導を進めていかなければならないと感じた。他の学校でも危機管理講習会や救急救命等の行事が行われ、小城市教育の日にふさわしい一日だった。
- ・ 11 日、A L T 配置業務委託業者選定委員会。
- ・ 12 日、新入学児童図書カード贈呈式。小城ロータリークラブから小学校の対象児童に贈呈された。
- ・ 16 日ふれあい芸能まつり。小さい子どもからお年寄りの方まで 10 部門 15 団体が日ごろの成果を発表され、非常に充実した催しだった。
- ・ 18 日定例教育長会。
- ・ 20 日学校給食運営委員会。牛津小学校 1 年生の給食試食会の話があり、保護者からレシピの質問があるなど、非常に評判が良かったという話であった。
- ・ 21 日定例校長会。
- ・ 24 日三日月小学校市教委訪問。
- ・ 26 日三日月中学校市教委訪問、同日防犯協会総会、租税教育推進協議会総会。
- ・ 今後の予定として、28 日佐賀県教育庁教職員課の学校訪問、7 月 3 日岩松小学校東部教育事務所訪問、4 日芦刈観瀾校市教委訪問、10 日桜岡小学校東部教育事務所訪問、17 日三日月幼稚園県教委訪問が予定されているためよろしくお願いしたい。

〔意見・質問〕

○B 委員

虐待に関するニュースで、現地では何回か周囲の人の通報があっている状況。小城市も教育の原点は家庭からということを出しているのので、小城市も関連のある項目。具体的な展開としては、公民分館長全体会や区長連絡協議会の全体会もある。そういったところに協議やお願いしていく事も小城市の教育の充実につながると思う。

議会の中で天山周辺や須賀神社のトイレ整備という声もあった。他市は天山に行くのに貸し切りバス等を利用することも有ると思うが、小城市は天山に対し立地もいい。小城高校の天山登山もあるが、立地を生かすためにはトイレ整備等思い切った施策を打つ必要があると思う。

6 議 事

第 1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について（公開）

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

承認

【議案第 8 号】

小城市教育情報化推進協議会設置要綱の一部を改正する訓令

〔説明〕

◇教育総務課長が説明

小城市教育情報化推進協議会設置要綱の一部を改正する訓令について、別紙のとおり提出する。

小城市教育情報化推進協議会を構成する組織及び事務局が現状に即していなかったため、これを是正するもの。

組織の構成員を現状にあわせて改正するほか、推進協議会の事務局は現在教育総務課となっているため、第 7 条を「事務局は、教育総務課に置き、学校教育課は事務局を補佐するものとする」に改正する。

〔意見・質問〕

○B 委員

事務局としては教育総務課としても、教育内容等の中身については学校教育課で中心となってやっていてもらいたい。

〔結果〕

承認

【議案第 9 号】

小城市重要文化財の指定解除について

〔説明〕

◇文化課長が説明

小城市重要文化財の指定解除について、平成 22 年に洋画家青木繁の没後 100 年に市の重要文化財に指定していた作品「朝日」が、今回佐賀県重要文化財に指定されたため、小城市文化財保護条例第 5 条第 5 項の規定により小城市の指定を解除する。

〔意見・質問〕

○E 委員

小城市から佐賀県に移ることは残念だが、展覧会等で観てもらえる機会が増えるということか。

○文化課長

保管自体は佐賀県立美術館で昭和 58 年からされており、黄城会から県立美術館に移管をされている。

○教育長

重要なものと位置づけられ、ランクがまた上がったと捉えていただきたい。

〔結果〕

承認

第2 報告事項

【報告第12号】

小城市教育委員会評価委員会委員の委嘱について

〔説明〕

◇教育総務課長が説明

小城市教育委員会評価委員の任期満了に伴う委員の委嘱。

渡瀬浩介氏、南里和則氏を新任としている。

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

【報告第13号】

平成30年度一般財団法人小城市体育協会の経営状況について

〔説明〕

◇生涯学習課長が説明

地方自治法の規定により小城市議会第2回定例会に報告させていただいたが、平成30年度財団法人小城市体育協会の経営状況について報告する。

平成30年度は市民スポーツの充実、競技力向上の推進、協会組織の体制強化を3本柱として事業を行い、事業推進の拠点施設として8つの体育施設の管理運営を行った。

体育協会加盟の競技団体への支援の他、小城市民体育大会、小城市綱引き大会、キンボール大会を開催し、競技力向上を目的として、前年度県民体育大会上位入賞の6競技団体へ特別強化費を配賦し、第71回県民体育大会では総合第5位の成績を残した。

また、2月に開催された第59回郡市対抗県内一周駅伝では、体育協会でも選手強化等後押しを行い、小城市代表チームの7年連続8回目の優勝につながった。

前年度の体育施設の利用状況は、利用者総数17万1,367人、利用料金725万8,290円で、前年度より8.8%の増となった。

前年度の経常費用の決算額は6,987万3,741円で、正味財産の期末残高は1,323万6,606円。令和元年度の予算としては経常費用として6,892万6,000円を計上している。

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

【報告第16号】

小城市三里保育園の民間移管に関する選考委員会設置要綱の制定について

〔説明〕

◇保育幼稚園課長が説明

小城市立幼稚園・保育園の再編計画及び小域私立幼稚園・保育園の民営化ガイドラインに基づき、三里保育園の令和3年度民間移管を目指し、民間事業者の選考を公平かつ適正に実施するため、要綱を定めたため報告する。

内容については岩松保育園の民間移管時と変わらないが、令和2年3月までに選考を完了する形としている。

選考委員会設置後に、プロポーザル、提案方式で選考を実施し、夏季に現地視察・募集、秋口に選考委員会を実施。年内に選考完了を想定している。

〔意見・質問〕

○E委員

夏に現地視察との事だが、建物は変わるのか。

○保育幼稚園課長

建物はそのままとなる。

○教育長

随時経過については報告をさせていただく。

〔結果〕

了承

7 その他

(1) 教育委員会の共催及び名義後援事業について

〔説明〕

◇教育総務課庶務係長が説明

①佐賀のうたごえ祭典実行委員会／2019 佐賀のうたごえ祭典

②一般社団法人 小城市観光協会／徳永玲子さん読み聞かせ会と切り羊羹の実演

③ムーンファンタジア in 三日月実行委員会／第 19 回 ムーンファンタジア in 三日月

④小城市勤労者福祉協議会／2019 SUMMER 平和コンサート

⑤KTC おおぞら高等学院佐賀キャンパス／「思春期の子どもへの向き合い方」～どの子どもにも愛着と発達の視点を～

⑥佐賀子ども劇場／佐賀子ども劇場の鑑賞例会および自主活動

⑦佐賀県特別支援教育研究会／平成 31 年度佐賀県特別支援教育研究会第 60 回夏季研究大会

⑧一般社団法人 小城市体育協会／第 32 回 小城市芦刈ムツゴロウロードレース大会

⑨小城市学校事務研究会・多久市学校事務研究会／小城・多久地区学校事務職員研修会

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

(2) 佐賀県市町教育委員会連合会定期総会の開催について

〔説明〕

◇教育総務課庶務係長が説明

平成 31 年度・令和元年度佐賀県市町教育委員会連合会定期総会について、7 月 5 日金曜日 14 時開会で予定をされている。

〔意見・質問〕

○教育長

この定期総会の際に、当日はどうしても出席できないとの事だが、久本行則前教

育委員に市町教育委員会連合会より感謝状が贈呈される予定となっている。

〔結果〕

了承

(3) 令和元年度小城多久地区中学校総合体育大会応援計画について

◇学校教育担当部長が説明

第 54 回小城多久地区中学校総合体育大会について、今年度は 7 月 13 日土曜日と、14 日日曜日に開催される。

委員の皆様には二手にわかれて、会場に出向いていただき、選手宣誓、監督、コーチや保護者の方々に激励をお願いしたい。

〔意見・質問〕

なし

〔結果〕

了承

(4) カルピス 100 周年小城市振興プロジェクトについて

◇文化課長が説明

新聞にも掲載されたが、梧竹の銅碑「鎮國之山」のレプリカの寄贈を受け、天山の 8 合目に設置した縁で、6 月 25 日にアサヒ飲料の岸川社長が小城市長に面会され、ことしはカルピスができて 100 周年になることから、いろいろなイベントを行いたいという中で、小城市の 3 つのイベントに協賛いただくことになった。

8 月の山の日、11 月の秋のさくらまつりの他、教育委員会所管として、8 月 25 日の書聖中林梧竹翁顕彰席書大会にて「カルピスウォーター」500 ミリリットルを参加者に贈呈いただくこととなっている。

〔意見・質問〕

○B 委員

銅碑周辺については剪定等環境整備をする必要がある。

○文化課長

周辺については商工観光課と連携して清掃を行っている。

〔結果〕

了承

8 次回定例教育委員会開催日程及び場所

◇定例会

【日 時】 7 月 25 日（木） 午前 9 時 30 分～

【場 所】 小城市役所 西館 2 階 2－6 会議室

9 議 事【非公開】

第 1 議決事項

【会議録】

教育委員会の会議録について（非公開）

〔承認〕

第 2 協議事項

【協議第 4 号】

就学援助（準要保護）の認定について

〔了承〕

第 3 報告事項

【報告第 14 号】

就学援助の認定について

〔了承〕

【報告第 15 号】

教育委員会事務局職員の育児休業について

〔了承〕